

令和5年度事業報告書		事業所名	やすらぎの家	作成者	立石 裕子	作成日	R6.3.31		
目標	本年テーマ	(計画) 個々にあった支援を提供し、ご利用者様・職員共に楽しく穏やかな時間を過ごす							
		(評価) ご利用者様・各職員共にどこまで満足できているかは不明ですが、しっかり取り組めたと思います。							
基本処遇及び運営	■ 令和5年度処遇及び運営方針に対する評価								
	(計画) ① 優しく親しみやすい言葉を心掛け、ご利用者様や職員同士の距離感を保つ								
	② 担当者を明確にし担当業務を見直す。担当のご利用者様の声をしっかり聴き、ご本人、ご家族が望んでいる事、何が喜ばれるかを聞き取り支援していく。								
	③ 小規模多機能の役割を理解し、どんな支援が必要で、どうやったら出来るか考える習慣をつける。								
	④ チームとして支援できる様に声掛けや協力をし、職員同士の連携を強化・モチベーションを維持していく								
	(評価) ① 個々の感覚の差も有り、線引が難しい面もあるが、内部評価でも言葉使いは目標に上げており毎月評価してもらった。毎月振り返る機会を持つ事で意識も出来ていると思う。② 担当業務の見直しや強化、又自分でプランを立ててみる等もやってみる事で、担当ご利用者様をより深く知ろうとする事ができている。ご利用者様のしたい事をひとつひとつ形にできている。								
	③ 困難事例の方の受け入れ時は不安が先走る為、「無理」「うちじゃなからう」という様に、考える前にマイナスな発言が出る。その都度「理念、理念」と職員間で声が上げる様になった。④ 各自、任された業務はきちんと出来ているが、連携・チームとして考えると、職員同士の声掛けが足りていないと感じる。もっと職員同士、報告相談、声掛け等を行う必要がある。								
	■ 職員研修計画と実績								
	研修・セミナー	研修名称		参加実績		研修名称		参加実績	
		岡山県小規模連絡会		4名		感染症対策 コロナ5類に移行		全員参加	
倉敷市小規模連絡会		2名		嘔吐物処理キットの使い方		全員参加			
人員換算計算法、利用料金、小規模の役割等の研修		全員参加		高齢者類似体験		全員参加			
高齢者虐待防止・身体拘束廃止		全員参加		心肺蘇生研修		2名			
認知症		全員参加		事故防止の基礎知識		全員参加			
法令順守		全員参加		介護支援専門員更新研修		1名			
会議・委員会・内部研修	■ 会議・委員会計画実績・効果								
	会議委員会名		実績・効果		会議委員会名		実績・効果		
	やすらぎ会議		13名(毎月)目標、ご利用者情報共有、業務改善等を行う		安全衛生委員会		1名(毎月)		
	事故予防委員会		4名(毎月)毎月振り返り、その後の経過確認を行い再発防止を図る		相談員会議		1名(毎月)		
	給食委員会		1名(毎月)ご利用者様のニーズ、課題等を日清・陽だまりと検討		ブランディング委員会		1名(毎月)		
	経費削減委員会		4名(年4回)様々な意見を取り入れ経費削減に繋がっています		教育委員回		1名(毎月)		
	感染症委員会		3名(毎月)季節毎の感染予防コロナ対策。嘔吐物処理勉強会		親和会会議		1名(今年度なし)		

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	6月	火災	有り	夜間想定 of 火災想定 ローテーション職員順番に訓練を行う。
	11月	震災訓練	有り	日中想定による消火避難訓練 併せて消化器の使い方を体験させて頂く。

■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)	
月 度	
4月	小規模の役割、人員時間数の計算や加算等 お花見
5月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止 節句会・茶話会
6月	感染症・食中毒防止 希望外出
7月	人権 陽だまり合同 10周年記念行事
8月	認知症 お好み焼きパーティー
9月	法令遵守 敬老会
10月	職員講師による勉強会 小運動会
11月	感染症対策研修 希望外出
12月	事故予防 クリスマス会
1月	各人に合った研修を受ける 新年会
2月	職員講師による勉強会 節分会
3月	職員講師による勉強会 雛祭会・茶話会

(総評)  
今年度一番重きをおいたのは、個別支援でした。まずは担当ご利用者様を良い意味でえこひいきする。その為、職員の意識付けの為に名刺を作り、ご利用者様やご家族様にお渡ししました。担当業務の見直しと拡大。プランも出来るところまで作ってみる事で、今まで以上にご利用者様を知る必要があり、何が課題で何が目標で、その為には何を支援したら良いか。又、ご利用者様の願い・夢をひとつずつ叶える等、個々としっかり関わるようにしました。ご利用者様の満足度も上がり、職員もやり甲斐があったのではと感じます。

行事に関してはほぼ計画通り。研修も1月まではほぼ計画通り遂行できました。又大きく変わった事は、2月3月にやっと記録等をほのぼのに移行する事が出来ました。

一昨年11月より、登録者数を25名から28名に上げましたが、新規が入るも施設入所される方もたくさん出て、マックス23名で予算に到達しておりません。

困難事例の方の受け入れは、最初は職員が不安の為ざわつきませんが、ベテラン職員ばかりでうまく施設側のペースに持っていき事が出来ています。初めての事、想像もつかない様な事が次々起きるので、勿論大変ですが、良い経験・勉強になっている事は間違いないです。

職場的にご利用者様・職員共に笑い声も多く、とても雰囲気の良い職場と思います。引き続きご利用者様の声を拾い、願いをひとつでも多く叶えて行きたいと思えます。

今後の課題としては、今の個々の力を次はチームとして活かすことだと思います。その為にも、職員同士、ご利用者様との距離を大切にしながら、声掛けをしつかり行いみんなで相談・フォローしながら、それぞれが居心地の良い、楽しく穏やかな施設にしてい